

(8)名古屋市会議長あいさつ

○藤田市会議長

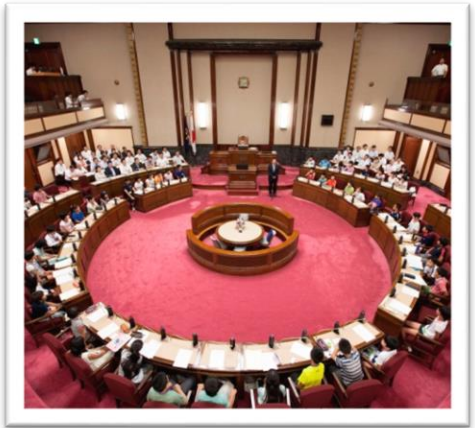
皆さん、お疲れさまでした。もうちょっとでなごや子ども市会も終了いたします。今、子ども議長さんからお許しをいただきましたので、私の立場から一言講評を、少し私の思うところのお話を聞いてもらいたいと思います。

まずは、なごや子ども市会に今回応募いただいて、この議場でいろいろな議論をしていただいた皆さん、3日間にわたってこの議場で、私たち市会議員がふだん会議をしている本会議を体験してもらいました。一番最初に皆さんがこの議場に入られたときに私から御挨拶をしたんですけど、余り大きな声が返ってこなくて、2回か3回やり直したのを覚えていますか。そのときに、そんな小さな声では議員は務まりませんよというふうにお話しをしました。そうしましたら、次の機会からは本当に大きな声で元気がよ過ぎるぐらい、中には廊下を走るぐらい元気な子ども議員の方もおられました。これで元気よく議論してもらえるなと思いました。そして、2日目、委員会でそれぞれ話し合いをしてもらって、その後議場に集まってもらったときに、今の子ども議長さん、そして子ども副議長さんを選出した正副議長選挙をしました。そのときは、今度は逆に余りにも元気がよ過ぎて、議長選挙の投票や開票をしているときにペチャペチャペチャしゃべっている人がたくさんいました。それで、私は議長席から、「この場合、皆さん、開票中ですからお静かにしてください」と2回皆さんに注意をさせていただきました。きょう本番では各委員会、そして陸前高田市の小学生の皆さんの発表、本当に静かに、そして真剣に、一つの言葉も聞き漏らさず聞いてもらいました。おしゃべりをするような、ほかごとをするような子ども議員さんはきょうはいませんでした。本当に皆さんは子ども議員として大きくこの3回の経験で成長したと思います。これから夏休みまだいろいろあると思いますし、新学期も迎えます。いろいろな話し合いをするときに、皆さんのきょうのこの体験はきっと役に立つことだと思います。

最後に私から子ども市会の皆さんに贈りたい言葉は、思っても言葉にしなければ会話になりません。こんなことをしたらいいなと思っても、それを発表しなければ形になりません。きょう各委員会の皆さんは本当にいい発表をしてくれたと思います。きょうは先ほども御紹介した市役所の皆さん



んも聞いておられました。皆さんのアイデアはきっと今後の名古屋に生かされていくことがたくさんあると思います。そして、その発表をするためには、思いついたら行動しなければ皆さんの思いはかなえることができません。だから、各委員会でそれぞれの現場へ自分たちで足を運び、いろいろなことを聞いて、見て、そして自分たちの意見を出し合って、そしてきょうの発表をしてもらったのだと思います。これが議会の私たちがふだんしていることだというふうに理解をしてください。これからまだまだ夏休みは長いですが、きょうこの3日間の子ども市会で学んだことがきっと皆さんに生かされる、そういうことを私も信じて疑いません。これからも頑張っていると思います。



そして、二つ目は、きょうは陸前高田市の皆さん、本当に遠いところをなごや子ども市会のために集まっていたいて本当にありがとうございました。陸前高田市の市長さんも、そして議長さんもこの本会議場で私たち市会議員の前で御挨拶をしたことがあります。きょうこの6人の皆さんから発表していただいた話には、大人も含めてふだんから防災のときにはこういうことを気をつけようねと、名古屋の中で話をしていることもたくさんありました。ただ、きょう本当に被災地の陸前高田市の6人の皆さんからお話をいただいたことで、ふだん私たちが気をつけようねと言っているその一つ一つがいかに大事かということが、きっと、きょう子ども議員の皆さんや傍聴しておみえになる皆さん、インターネットをごらんいただいている皆さん、そして何より私たち名古屋の市会議員の心に大きく響いたと思います。これから名古屋市と陸前高田市の皆さんとが末永く友情が育まれることを本当に祈ってやみません。また名古屋に遊びに来たら、どうぞ元気よく名古屋市役所を訪ねてください。皆さんを心から歓迎したいと思います。そして子ども議員の皆さんも、もし岩手県、被災地である陸前高田市を訪れるようなことがあったり、



東日本大震災に限らず、いろいろな災害の地を訪れることがあったら、そのときに、きょう陸前高田市の皆さんとお話しをした話を皆さんの知り合いや親戚、そして友達の方にぜひ話をしてください。そうやって、自分たち

の命を守る、家族を守る、財産ざいさんを守ることは皆さんの口コミで大きく広げていけば、きっと安心で安全な皆さんの住みやすいまちがつくれると思います。

最後になります、傍聴ぼうちょうしていただいた皆様方、本日は本当に暑い中、そしてまたいろいろと御用ごようもあったと思いますが、最後まで子ども市会におつき合いいただきまして本当にありがとうございます。名古屋市会を代表して厚く御礼を申し上げます。また、インターネットをごらんみなさまがたの皆さん、最後までこの名古屋市会の様子を中継ちゅうけいでごらんをいただきましてありがとうございます。名古屋市会を代表して、あわせて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

子どもたちの夏休みはまだまだ続きます。夏休みは非常に長いお休みですけれども、この長いお休みを使って子どもたちはまだまだこれから先いろんな経験けいけんを、そして体験たいけんをしていくことと思います。子ども市会がその一つのプログラムの一助を担えれば、こんなすばらしいことはありません。その体験を通じて、子どもたちは皆さんが願うような大人の姿すがたに一步一步近づいていくと思います。体験をするのは子どもたちですけれども、その体験をする機会をつくっていくのは私たち大人の役割だというふうに私は思っております。このなごや子ども市会はそういった意味で、昨年の中川前議長から私が議長に選任せんにんされてから引き続きこのなごや子ども市会をやらせていただきました。また皆様方に御理解ごりかいいただいて、このなごや子ども市会がさらに発展はってんをしながら継続けいぞくができますように、皆様方の御理解と御協力も賜りたいと思います。どうぞ今後も名古屋市会を常に身近に感じていただきまして、皆さんの生命と暮らしを守る名古屋市会に皆さんの手でお育ていただきますようによろしくお願い申し上げます。少し長くなりましたが私からのそれぞれの講評こうひょう、そして御礼の御挨拶ごあいさつにかえささせていただきますと思います。

本当に皆さん、長時間の会議だったと思います。疲れたと思いますが、お疲れさまでした。ありがとうございました。



(9)子ども議長・子ども副議長あいさつ

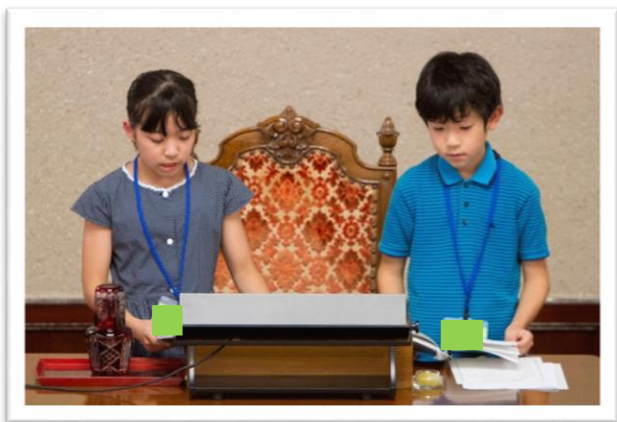
○子ども議長

ここで、子ども正副議長より御挨拶申し上げます。

子ども議長を務めさせていただきました子ども議長です。

この3日間、とても貴重な体験をすることができました。そして、皆さんと名古屋市をもっと知ることができ、どれだけの人が名古屋市を支えているのかも学ぶことができました。そして、次は日常生活でその学んだことを生かして、もっと名古屋市がよくなるように取り組みたいと思います。

最後に、子ども市会を開催するためにいろいろと御指導くださいました藤田議長をはじめ関係者の皆様にお礼申し上げます。どうもありがとうございました。



○子ども副議長

子ども副議長を務めさせていただきました子ども副議長です。

きょうは陸前高田市の小学生と交流ができて、震災について身近に感じるすることができました。また、議会を通じて貴重な経験をさせていただいたことに感謝いたします。この経験を将来に生かせるとうよいと思います。

皆さん、ありがとうございました。

(10)「なごや子ども市会」閉会

○子ども議長・子ども副議長

これをもって、なごや子ども市会を閉会^{へいかい}いたします。

